## 2 個別事業評価調書

事 業 名		防災備蓄品整備事業						
事業の概要		地域や立地状況を照らし合わせ、もしもの事態を想定することは行政として不可欠であり、その整備を常日頃から行う必要があります。そのため、笠置町では19年度に安心・安全なまちづくり事業として防災・水防備蓄倉庫を新たに整備設置しました。 この備蓄倉庫の備蓄品の充足、つまり有事におけるあらゆる状況への対策の充足を図るべく、本年度は非常時用の折りたたみ便器等の購入をしました。						
		事業期間	<b>事業期間</b> 平成21年12月14日~平成21年12月14日					
		総事業費	993千円	本年度事業費	993千円	交付金交付額	534千円	
	事業の必要性	災害時の水道水ありました。	供給が断たれるこ	して衛生面の管理が とを想定し、備蓄のかなる雨具を購入し、雨	ない簡易トイレ及で			
	事業の有効性							
	事業の効率性							
事		1 府と市町村等との	D連携に資する成	果				
業		2 住民の自治意識	を高める成果					
評価	3 リーディング・モデル成果							
		4 広域的波及成果	:					
		5 行財政改革に資する成果						
6 その他の成果 簡易トイレ72組、折りたたみ便器20個等を新規に購入・備蓄したこ図られ、安心・安全なまちづくりに繋げることができたと考えます。						って、有事における	備蓄品の充足が	

団体名:

笠置町

## (記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。